

### 出陣式

七月三十日午前十二時四十分、ふれあい公園にて出陣式が行われました。大人御輿には五穀豊穡を願う米、身を清める塩、お供え物のスイカ、邪気を払う榊が添えられています。

御輿を取り巻く御輿関係者、各区長、消防団の皆様に向かい、長谷川自治会長による御

輿巡行の安全祈願を盛り込んだ力強い挨拶が響きます。これより四時間半に亘る巡行の開始です。

先頭は子ども山車そして子供御輿、お囃子屋台、大人御輿が威勢よく街中に練りだしました。そしてその後ろからドンドコ・ドンドコ・ドンドコと西志津お囃子友の会の皆様による出陣太鼓が力強い応援太鼓となって、皆の胸に鳴り続けました。

### 大人御輿

御輿を担ぐ人、その周りではかけ声を掛ける人が一丸となった大人御輿が中志津の沿道を力強く練り歩いていきます。

「和が一緒・和が一緒」を表す「ワッショイ・ワッショイ」のかけ声が中志津を支える明るい未来と熱情を伝えてくれました。



# 御輿巡行

## 子供御輿・山車

山車のお話し

昔昔のまゝだ、ずっと昔。天には神様がおりました。神様は年に一度、地上に住む人間に会いに来ました。どうやって来るかという、自分の降りる処の目印として、その土地の一番高い山におりました。昔、山の上に神様が降りてくる小さなお家(祠といひます)がありました。神様はそこに降りてから、車に乗って、みんなの様子を見てかけました。その車がお神輿です。

でも、だんだんと自然が開発され、山がなくなり平地となってきた、神様は降りる目印が見つからなくなりました。そこで下に住む人達のように目印をつくりました。それが山車です。

山車という字に山という字が入っているのは、そのためです。

山車引くや  
稚児の顔にも  
汗光り  
御輿かつぐ見  
なおたくましく



最後の盆踊り曲が流れます。炭坑節です。踊りの曲が終了すると、やぐらの檣上で長谷川自治会長の閉会宣言が告げられました。

「楽しい時間の過ぎるのは早いものです。今年の夏祭を支えてくれた実行委員及び支援者の皆様には二日間、大変お世話になりました。最後に近隣の皆様のご協力に感謝申し上げます閉会とさせていただきます」

人の和を  
祭りが結ぶ  
半世紀  
力合せて  
さらによいまち